

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和8年2月20日

計画の名称	佐倉市における安全・安心な下水道整備(防災・安全)												
計画の期間	平成28年度～平成32年度(5年間)									重点配分対象の該当	-		
交付対象	佐倉市												
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。また、印旛沼をはじめとする公共用水域の水質改善に寄与する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	512	A	498	B	-	C	14	D	-	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)	2.73	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)											
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値										
		当初現況値			中間目標値			最終目標値				
		H28末			H30末			H32末				
①	①重要な下水道施設の耐震化を図る「防災」、被災を想定して被害の最小化を図る「減災」を組み合わせた総合的な地震対策計画を策定し耐震対策事業を行う。											
	①下水道施設における総合的な地震対策計画の策定 策定済みの計画数/地震対策として策定すべき計画数	0%			100%			100%				
②	②避難所等のマンホールトイレ設置率を0.0%(H28)から77.8%(H32)に増加させる。											
	②避難所等のマンホールトイレ設置率 マンホールトイレの設置された避難所数(箇所)/マンホールトイレの設置すべき避難所数(箇所)	0%			33%			78%				
③	③長寿命化計画に基づき佐倉第2・6・10処理分区における長寿命化対策達成率を46.2%から100%に増加させる。											
	③下水道施設における長寿命化対策達成率 長寿命化対策済みの管渠(km)/長寿命化対策をすべき管渠(km)	46%			100%			100%				
④	④持続可能な下水道事業の実施を図るため、「佐倉市公共下水道ストックマネジメント計画」を策定し、計画的かつ効率的な長寿命化対策を実施する。											
	④佐倉市公共下水道ストックマネジメント計画の策定率 策定済みの計画数/ストックマネジメント計画として策定すべき計画数	0%			100%			100%				
⑤	⑤下水道による都市浸水対策達成率を65.8%(H28)から66.0%(H32)に増加させる。											
	⑤下水道による都市浸水対策達成率 浸水対策完了済み面積(ha)/浸水対策を実施すべき面積(ha)	66%			66%			66%				
⑥	⑥地震発生時における重要な下水道施設の機能確保率を0%(H29)から6.2%(H33)に増加させる。											
	⑥重要な管渠の耐震診断の達成率 重要な管渠のうち、耐震診断が行なわれた延長(km)/下水道総合地震対策計画に位置付けられた重要な管渠の延長(km)	0%			3%			6%				
⑦	⑦地震発生時における重要ポンプ施設の耐震診断実施率を0%(H28)から100.0%(H32)に増加させる。											
	⑦重要ポンプ施設の耐震診断の達成率 耐震診断が行なわれた施設数/下水道総合地震対策に位置付けられたポンプ場施設数	0%			0%			100%				

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中核都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
当初1つの整備計画を切り分けたため、計画を跨る成果目標については、事後評価等を関連する整備計画と一体的に実施する。												

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市区町村名/港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益費	個別施設計画策定状況	
												H28	H29	H30	H31/R01	R02				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	佐倉市	直接	佐倉市	-	-	佐倉市下水道総合地震対策計画	計画策定	佐倉市	■					0	-	策定済	
		総合地震対策																		
	A07-002	下水道	一般	佐倉市	直接	佐倉市	管渠(汚水)	新設	マンホールトイレシステム整備	災害用トイレの整備	佐倉市		■				20	-	策定済	
		総合地震対策																		
	A07-003	下水道	一般	佐倉市	直接	佐倉市	管渠(汚水)	改築	管渠改築(長寿命化)	管更生・布設替え	佐倉市	■	■	■			119	-	策定済	
		長寿命化支援制度																		
	A07-004	下水道	一般	佐倉市	直接	佐倉市	-	-	公共下水道ストックマネジメント計画策定	ストックマネジメント計画策定	佐倉市		■	■			88	-	策定済	
		ストックマネジメント																		
	A07-005	下水道	一般	佐倉市	直接	佐倉市	管渠(汚水)	改築	管渠改築(長寿命化)	管更生・布設替え L=10km	佐倉市				■	■	166	-	策定済	
		ストックマネジメント																		
	A07-006	下水道	一般	佐倉市	直接	佐倉市	-	-	公共下水道管点検・調査事業	φ200~φ4,000 L=20km	佐倉市					■		49	-	策定済
		ストックマネジメント																		
	A07-007	下水道	一般	佐倉市	直接	佐倉市	-	改築	総合地震対策事業(耐震診断)	耐震診断 L=8.92km	佐倉市				■	■	27	-	策定済	
		総合地震対策																		





事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

<p>事後評価の実施体制</p> <p>佐倉市上下水道部における社会資本総合整備計画評価委員会設置要領に基づき、佐倉市社会資本総合整備計画評価委員会において実施</p>	<p>事後評価の実施時期</p> <p>令和8年2月</p> <p>公表の方法</p> <p>市ホームページで公表</p>
--	---

○事業効果の発現状況

<p>定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況</p>	<p>【総合地震対策事業】 避難所である小学校にマンホールトイレを整備したことにより、災害時のライフライン機能を確保した。地震発生時における重要な下水道施設の機能確保率を上昇させた。</p> <p>【浸水対策】 浸水による影響が大きい地域において雨水幹線を整備したことにより、都市浸水リスクの低減に寄与した。</p> <p>【ストックマネジメント】 ストックマネジメント計画を策定し、施設の点検・調査、修繕・改善の施設管理を最適化することができた。</p> <p>【長寿命化対策】 長寿命化計画に基づき、千成団地、鳳翔団地及び殖産団地の耐震化を図り、安全で安心して利用できる下水道を実現した。</p>
<p>定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）</p>	<p>【総合地震対策事業（効果促進）】 マンホールトイレ整備事業に併せ資機材を整備することにより、地震対策事業の効果促進が図れた。</p>

○特記事項（今後の方針等）

<p>【総合地震対策事業】 総合地震対策計画に基づき、引続き耐震化を推進する。</p> <p>【ストックマネジメント計画事業】 ストックマネジメント計画に基づき、引続き持続的な下水道機能の確保とライフサイクルコストの低減を推進する。</p> <p>【浸水対策事業】 雨水管理総合計画に基づき、引続き優先度の高い地域から浸水対策を推進する。</p>
---

○目標の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道施設における総合的な地震対策計画の策定	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
2	避難所等のマンホールトイレ設置率	
	最終目標値	78%
	最終実績値	100%
3	長寿命化計画に基づき佐倉第2・6・10処理分区における長寿命化対策達成率を46.2%から100%に増加させる。	
	最終目標値	100%
	最終実績値	74%
4	持続可能な下水道事業の実施を図るため、「佐倉市公共下水道ストックマネジメント計画」を策定し、計画的かつ効率的な長寿命化対策を実施する。	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
5	下水道による都市浸水対策達成率を65.8%（H28）から66.0%（H32）に増加させる。	
	最終目標値	66%
	最終実績値	66%
6	地震発生時における重要な下水道施設の機能確保率を0%（H29）から6.2%（H33）に増加させる。	
	最終目標値	6%
	最終実績値	4%
7	地震発生時における重要ポンプ施設の耐震診断実施率を0%（H28）から100.0%（H32）に増加させる。	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%

(参考様式3)

